

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【公開番号】特開2019-188180(P2019-188180A)

【公開日】令和1年10月31日(2019.10.31)

【年通号数】公開・登録公報2019-044

【出願番号】特願2019-113267(P2019-113267)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する主遊技部と、
演出を実行可能な演出実行手段と、
演出実行手段での演出実行を制御する副遊技部と、
遊技者によって操作可能な操作部材と

を備え、

主遊技部は、

乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得手段により取得された乱数に基づき、抽選を実行する遊技内容決定手段と、

副遊技部側が演出実行を制御するに際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信する遊技
情報送信手段と

を備え、

副遊技部は、

主遊技部側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段と、

遊技情報受信手段により受信された遊技情報に基づき、演出実行手段にて実行する演出
内容を制御可能な演出内容制御手段と

を備え、

演出内容として、遊技に関する情報を報知し得る遊技情報示唆演出を実行可能であり、

遊技情報示唆演出の実行期間にて、操作部材に対して遊技者による所定の操作がなされ
た場合に操作演出を実行可能であり、

遊技情報示唆演出の実行期間として、操作部材に対して遊技者による所定の操作がなされ
た場合に操作演出が実行される複数回の操作演出有効期間を有しており、

前記複数回の操作演出有効期間における各回の操作演出有効期間での操作部材に対する
遊技者操作に応じて操作演出を実行するものであり、

前記複数回の操作演出有効期間として、第一有効期間と、第一有効期間よりも後の期間
である第二有効期間と、を少なくとも有しており、

第一有効期間において操作部材に対する遊技者操作がなされた場合に実行される第一操
作演出よりも、第二有効期間において操作部材に対する遊技者操作がなされた場合に実行
される第二操作演出の方が、実行される時間が長い演出内容となり、

第一有効期間において操作部材に対する遊技者操作がなされた場合に実行される第一操作演出は、所定の画像を現在実行中の演出に重ねて表示する演出であり、

第二有効期間において操作部材に対する遊技者操作がなされた場合に実行される第二操作演出は、現在実行中の演出の結果を予告する演出であり、

遊技情報示唆演出の実行期間は、前記遊技内容決定手段において決定された結果が遊技者に有利な結果である場合の方が、相対的に実行期間の平均値が長くなることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本態様に係る遊技機は、

遊技の進行を制御する主遊技部（例えば、主制御基板 M）と、

演出を実行可能な演出実行手段（例えば、演出表示装置 S G、スピーカ D 2 4、ランプ D 2 6）と、

演出実行手段（例えば、演出表示装置 S G、スピーカ D 2 4、ランプ D 2 6）での演出実行を制御する副遊技部（例えば、副制御基板 S）と、

遊技者によって操作可能な操作部材（例えば、サブ入力ボタン A S B）と
を備え、

主遊技部は、

乱数を取得する乱数取得手段（例えば、第 1 主遊技乱数取得判定実行手段 M J 2 1 A、第 2 主遊技乱数取得判定実行手段 M J 2 1 B）と、

乱数取得手段（例えば、第 1 主遊技乱数取得判定実行手段 M J 2 1 A、第 2 主遊技乱数取得判定実行手段 M J 2 1 B）により取得された乱数に基づき、抽選を実行する遊技内容決定手段（例えば、遊技内容決定手段 M N）と、

副遊技部（例えば、副制御基板 S）側が演出実行を制御するに際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信する遊技情報送信手段（例えば、情報送信制御手段 M T）と
を備え、

副遊技部（例えば、副制御基板 S）は、

主遊技部（例えば、主制御基板 M）側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段（例えば、情報送受信制御手段 S M 4 0）と、

遊技情報受信手段（例えば、情報送受信制御手段 S M 4 0）により受信された遊技情報に基づき、演出実行手段（例えば、演出表示装置 S G、スピーカ D 2 4、ランプ D 2 6）にて実行する演出内容を制御可能な演出内容制御手段（例えば、演出表示制御手段 S M 2 0）と

を備え、

演出内容として、遊技に関する情報を報知し得る遊技情報示唆演出を実行可能であり、

遊技情報示唆演出の実行期間にて、操作部材（例えば、サブ入力ボタン A S B）に対して遊技者による所定の操作がなされた場合に操作演出を実行可能であり、

遊技情報示唆演出の実行期間として、操作部材（例えば、サブ入力ボタン A S B）に対して遊技者による所定の操作がなされた場合に操作演出が実行される複数回の操作演出有効期間を有しており、

複数回の操作演出有効期間における各回の操作演出有効期間での操作部材に対する遊技者操作に応じて操作演出を実行するものであり、

複数回の操作演出有効期間として、第一有効期間と、第一有効期間よりも後の期間である第二有効期間と、を少なくとも有しており、

第一有効期間において操作部材に対する遊技者操作がなされた場合に実行される第一操作演出よりも、第二有効期間において操作部材に対する遊技者操作がなされた場合に実行

される第二操作演出の方が、実行される時間が長い演出内容となり、

第一有効期間において操作部材に対する遊技者操作がなされた場合に実行される第一操作演出は、所定の画像を現在実行中の演出に重ねて表示する演出であり、

第二有効期間において操作部材に対する遊技者操作がなされた場合に実行される第二操作演出は、現在実行中の演出の結果を予告する演出であり、

遊技情報示唆演出の実行期間は、遊技内容決定手段において決定された結果が遊技者に有利な結果である場合の方が、相対的に実行期間の平均値が長くなることを特徴とする遊技機である。